令和４年３月１１日

令和３年度第２回富津市在宅医療・介護連携推進会議
～議題関連資料～
もくじ

（１）行政説明 １
（２）各ワーキンググループにおける令和３年度の取組について １７
（３）グループワークの手順 ２０
（４）グループワークシート ２２
（５）ＫＤＢシステム資料（介護保険）..... ２３
（６）ＫＤＢシステム資料（後期高齢者医療保険）..... ２４
（７）ＫＤＢシステム資料（国民健康保険）..... ３２
（８）認知症初期集中支援チーム支援記録 ４０

行政説明

- １　富津市の目指す姿と現状
- ２　富津市の施策の報告　今後の施策のお知らせ
- ３　富津市における在宅医療・介護連携推進事業の実際

１　富津市の目指す姿と現状

富津市の基本理念（目指す姿）

高齢者が地域でいきいきと輝くまち

出典：『第8期富津市介護保険事業計画　富津市高齢者福祉計画』20頁

施策の体系

目標1 健康づくりを推進する

- 介護予防の推進（一般介護予防の実施、公共施設や通いの場の活用等）
- 健康づくりの推進（特定健診・各種健診・健康相談等の実施）

目標2 在宅生活が継続できる体制を整備する

- 在宅医療・介護連携の推進
- 認知症施策の推進（認知症初期集中支援チームの運営。認知症ケアパスの作成・普及等）
- 多様なサービスの充実と介護者支援の強化（高齢者の実態把握と相談支援体制の整備等）

目標3 地域でのつながりを強化する

- 施策6 地域づくりの推進（支え合い活動の推進。高齢者見守り事業の推進等）
- 施策7 災害・感染症対策の強化（感染症対策の支援等）

出典：『第8期富津市介護保険事業計画　富津市高齢者福祉計画』21頁

富津市の現状

住民基本台帳人口 (令和3年4月1日)	43,214人
65歳以上人口	16,497人
高齢化率	38.2%
15～64歳人口	22,968人
15～64歳人口比率	53.1%
要介護認定者	3,091人
要介護認定率 (要介護認定者/　65歳以上人口)	18.7%

出典：令和3年度富津市福祉人口、年齢別・町丁別人口(令和3年3月末)

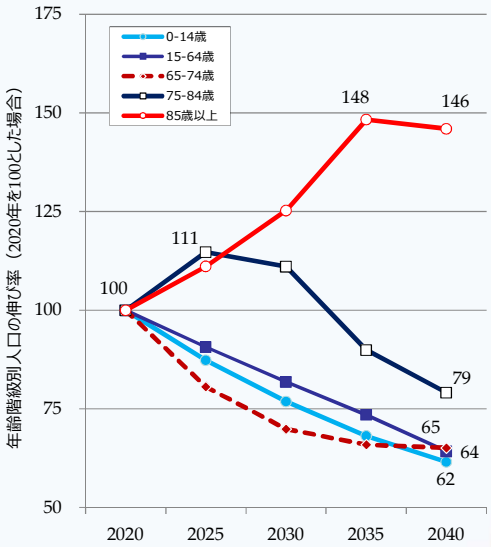
人口構造の変化（富津市）

- 2020→2040年間で、総人口は12,240人、15-64歳人口も8,119人減少していく。
- 一方、85歳以上は2,737→3,995人(1.5倍)に増加。2040年には総人口の13.1%を占める状況となる。

図表1-2. 2020→2040年の年齢階級別人口の変化

	2020		2040		変化量
	(人)	(%)	(人)	(%)	
総数	42,764	100.0	30,524	100.0	-12,240 (-28.6%)
0-14歳	3,779	8.8	2,326	7.6	-1,453 (-38.4%)
15-64歳	22,713	53.1	14,594	47.8	-8,119 (-35.7%)
65-74歳	7,853	18.4	5,115	16.8	-2,738 (-34.9%)
75-84歳	5,682	13.3	4,494	14.7	-1,188 (-20.9%)
85歳以上	2,737	6.4	3,995	13.1	1,258 (+46.0%)
再掲）65歳以上	16,272	38.1	13,604	44.6	-2,668 (-16.4%)
再掲）75歳以上	8,419	19.7	8,489	27.8	70 (+0.8%)

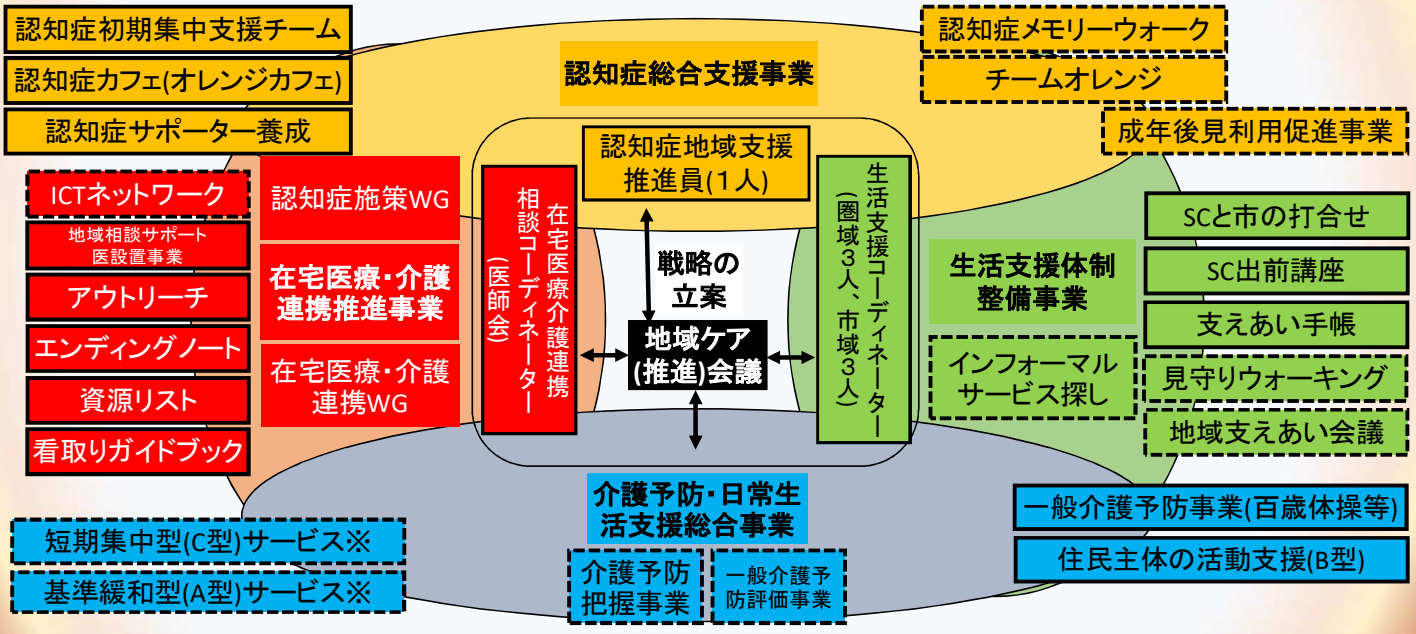
図表1-3. 年齢階級別人口の伸び率



出所）国立社会保障・人口問題研究所：日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）より作成

２　富津市の施策の報告
今後の施策のお知らせ

地域支援事業の連動性
(富津市版地域包括ケアシステムの現状)



厚生労働省「在宅医療・介護連携推進会議の手引きver.3」10頁を参考に作成。実線は取組み済、破線は未整備または取組み途中の意

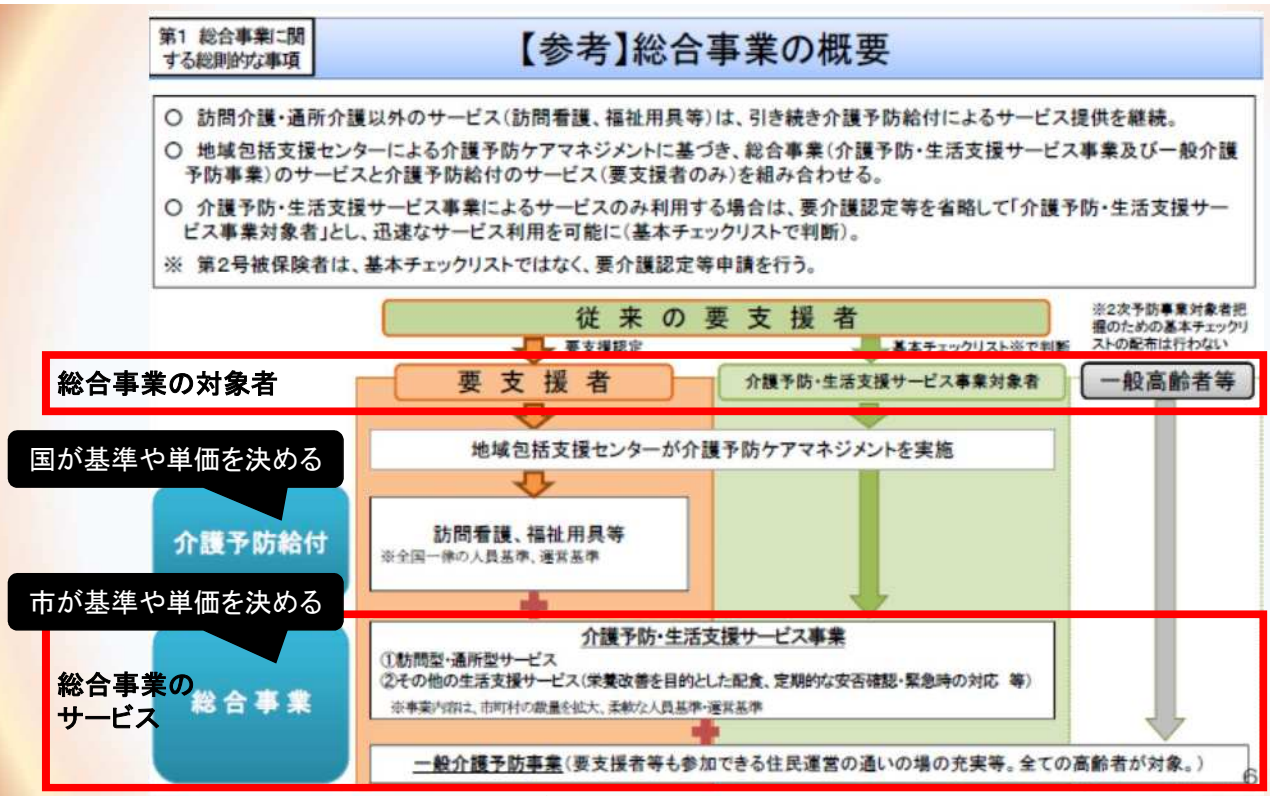
介護予防・日常生活支援総合事業の趣旨

介護予防・日常生活支援総合事業の趣旨として、

①効果的な介護予防ケアマネジメントと自立支援に向けたサービス展開による、要支援状態からの自立の促進や重症化予防の推進をはかる事業であること

②ケアマネジメントの中で、本人が目標を立て、その達成に向けてサービスを利用しながら一定期間取り組み、達成後は、より自立へ向けた次のステップに移っていくことを、説明する。

出典：厚生労働省資料「介護予防・日常生活支援総合事業のガイドライン」64頁から抜粋



出典：厚生労働省資料「介護予防・日常生活支援総合事業のガイドライン(概要)」

生活支援・介護予防と市場サービス等の役割

自分でスーパーに行って買い物ができない…

☞

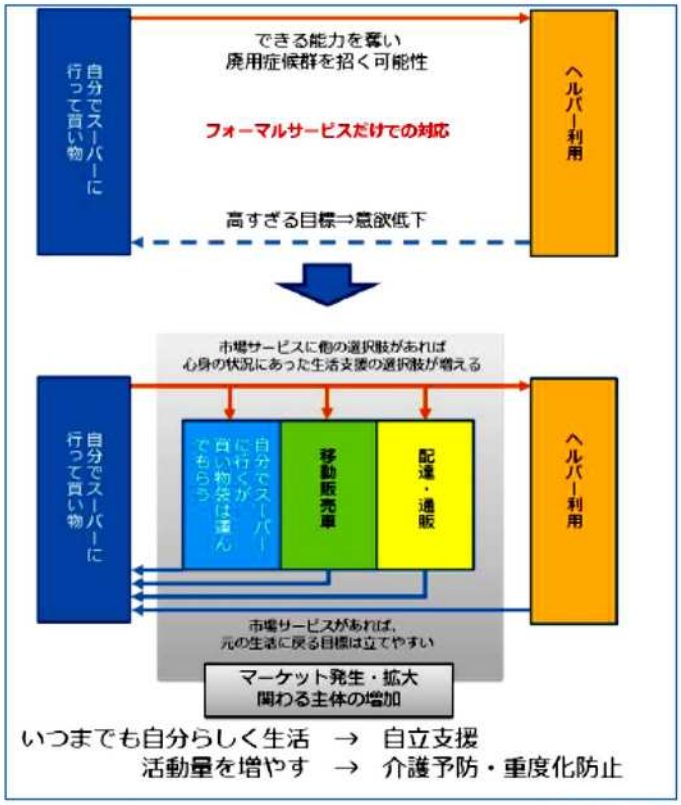
すぐにヘルパー利用では、本人のできる能力を奪うかも…

☞

別の可能性を検討

- 重たい物だけ運んでもらう
- 配達や通販を利用する

出典：一般財団法人 長寿社会開発センター　国際長寿センター
令和2年度老人保健健康増進等事業「自治体と民間企業の協働による都市部における地域づくりの展開に向けた調査研究事業」97頁



要支援状態とは（総合事業の対象者①）

ADL（日常生活動作）は自立しているが
IADL（手段的日常生活動作）は支援が必要な状態

○ 趣旨

- 介護保険制度では、寝たきりや認知症等で常時介護を必要とする状態（要介護状態）になった場合や、**家事や身支度等の日常生活に支援が必要であり、特に介護予防サービスが効果的な状態（要支援状態）**になった場合に、介護の必要度合いに応じた介護サービスを受けることができる。
- この要介護状態や要支援状態にあるかどうかの程度判定を行うのが要介護認定（要支援認定を含む。以下同じ。）であり、介護の必要量を全国一律の基準に基づき、客観的に判定する仕組み。

出典：厚生労働省資料「要介護認定の仕組みと手順」

基本チェックリストの運用（総合事業の対象者②）

- 右記リストに該当すれば、サービス利用可
- 利用できるサービス
  - 市の指定を受けた事業所が実施する訪問型サービス(ホームヘルプ)
  - 地域のボランティア団体等が実施する訪問型サービス
    (ちょっとした困りごとのお手伝い、外出時の付き添い等)
  - 市の指定を受けた事業所が実施する通所型サービス(デイサービス)
  - 地域のボランティア団体等が実施する通所型サービス(サロンなど)
  - その他のサービス(福祉有償運送など)
- 認定調査や主治医意見書は不要

基本チェックリスト

記入日	年　月　日	被保険者番号									
氏名		男 女	生年月日　年　月　日								
住所								電話			

No	質問項目	回答（いずれかに○をお付け下さい）	
1	バスや電車で１人で外出していますか	0. はい	1. いいえ
2	日用品の買物をしていますか	0. はい	1. いいえ
3	預貯金の出し入れをしていますか	0. はい	1. いいえ
4	友人の家を訪ねていますか	0. はい	1. いいえ
5	家族や友人の相談にのっていますか	0. はい	1. いいえ
6	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	0. はい	1. いいえ
7	椅子に座った状態からなにもつかまらずに立ち上がっていますか	0. はい	1. いいえ
8	15 分位続けて歩いていますか	0. はい	1. いいえ
9	この１年間に転んだことがありますか	1. はい	0. いいえ
10	転倒に対する不安は大きいですか	1. はい	0. いいえ
11	６ヵ月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか	1. はい	0. いいえ
12	身長　cm　体重　kg（BMI　）（注）		
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	0. いいえ
14	お茶やけ物等でむせることがありますか	1. はい	0. いいえ
15	口の渇きが気になりますか	1. はい	0. いいえ
16	週に１回以上は外出していますか	0. はい	1. いいえ
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい	0. いいえ
18	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	1. はい	0. いいえ
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0. はい	1. いいえ
20	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい	0. いいえ
21	（ここ２週間）毎日の生活に充実感がない	1. はい	0. いいえ
22	（ここ２週間）これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1. はい	0. いいえ
23	（ここ２週間）以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	1. はい	0. いいえ
24	（ここ２週間）自分が役に立つ人間だと思えない	1. はい	0. いいえ
25	（ここ２週間）わけもなく疲れたような感じがする	1. はい	0. いいえ

（注）ＢＭＩ＝体重（ｋｇ）÷　身長（ｍ）÷　身長（ｍ）が１８．５未満の場合に該当とする。

市、地域包括支援センターが行う介護予防ケアマネジメントの実施に当たり、利用者の状況を把握する必要があるときは、利用者基本情報、アセスメントシートを、市、居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、介護保険施設、主治医その他本事業の実施に必要な範囲で関係する者に提示することに同意します。

年　月　日　氏名

チェックリスト受付機関	富津市包括機関					富津市受付印
	包括保健師	1 要支援へ	介護事業対象	入力日	介護事業認定	

住民主体の助け合いサービスへの補助

- 補助対象となる助け合いサービス

①訪問による日常生活支援サービス

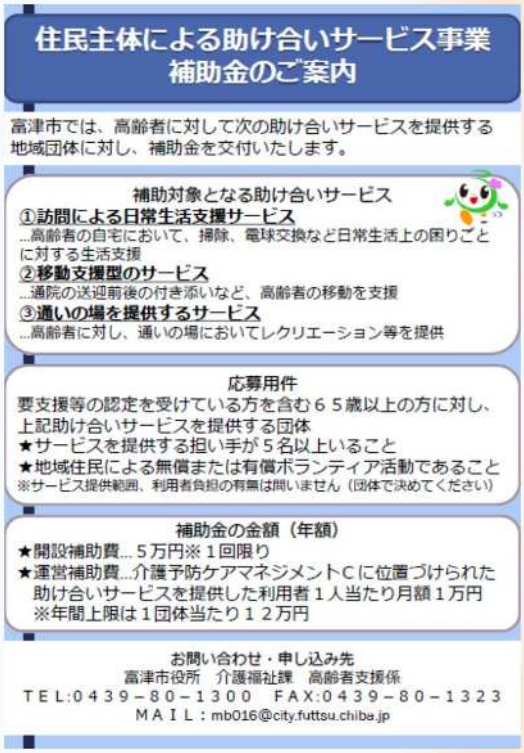
…高齢者の自宅において、掃除、電球交換など日常生活上の困りごとに対する生活支援

②移動支援型のサービス

…通院の送迎前後の付き添いなど、高齢者の移動を支援

③通いの場を提供するサービス

…高齢者に対し、通いの場においてレクリエーション等を提供



住民主体による助け合いサービス事業
補助金のご案内

富津市では、高齢者に対して次の助け合いサービスを提供する地域団体に対し、補助金を交付いたします。

補助対象となる助け合いサービス

①訪問による日常生活支援サービス
…高齢者の自宅において、掃除、電球交換など日常生活上の困りごとに対する生活支援

②移動支援型のサービス
…通院の送迎前後の付き添いなど、高齢者の移動を支援

③通いの場を提供するサービス
…高齢者に対し、通いの場においてレクリエーション等を提供

応募用件

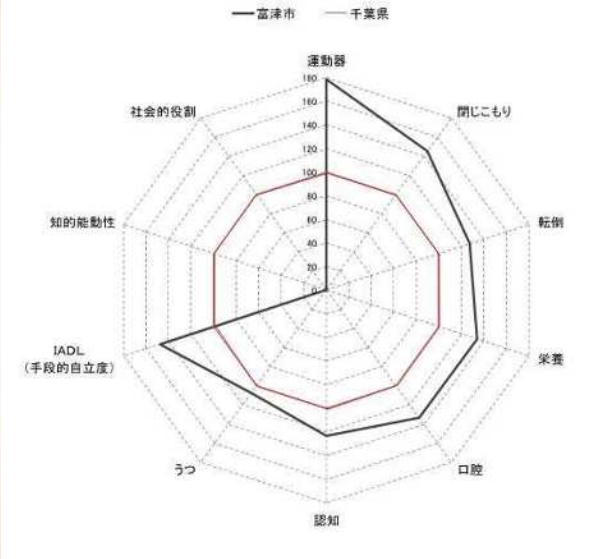
要支援等の認定を受けている方を含む６５歳以上の方に対し、上記助け合いサービスを提供する団体
★サービスを提供する担い手が５名以上いること
★地域住民による無償または有償ボランティア活動であること
※サービス提供範囲、利用者負担の有無は問いません（団体で決めてください）

補助金の金額（年額）

★開設補助費…５万円※１回限り
★運営補助費…介護予防ケアマネジメントＣに位置づけられた助け合いサービスを提供した利用者１人当たり月額１万円
※年間上限は１団体当たり１２万円

お問い合わせ・申し込み先
富津市役所　介護福祉課　高齢者支援係
ＴＥＬ:０４３９－８０－１３００　ＦＡＸ:０４３９－８０－１３２３
ＭＡＩＬ：mb016@city.futtsu.chiba.jp

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査分析支援事業の結果



- 県平均より、全体的にリスク該当者割合が高い。
- 運動器・閉じこもり・IADLについては、リスク該当者割合が特に高い。
- リスク該当者を減らすために、介護予防・生活支援サービス事業、一般介護予防事業について見直す。

富津市の総合事業の現状

介護予防・生活支援サービス事業

・従前相当のサービスが主であり、基準緩和や短期集中型サービスが未整備。
・住民主体の支援、移動支援について、住民主体の団体へ補助金の交付を開始したものの、まだ不十分(令和3年4月～)
　・給付費の増加につながっている？
⇒　・地域支援事業交付金の上限額超過につながっている？
　・地域で活躍できる人材の掘り起こし等が不十分

一般介護予防事業

・介護予防把握事業・・・未整備
・介護予防普及啓発事業・・・
　高齢者のための食生活教室、フレイルサポーター養成・講演会
・地域介護予防活動支援事業・・・
　富津市いきいき百歳体操の団体向けに補助金交付
・地域リハビリテーション活動支援事業・・・
　百歳体操のグループ等向けにリハ職が講演

⇨
・介護やフレイル状態にある高齢者の把握が不十分。
・困りごとへのサービス等の利用のための振り分けができていない。
・サービスが充実していない。
・一方でサービスを創ることが目的化してしまっていると感じている。

厚生労働省職員派遣の概要

- 日時：令和3年11月15日
- 10時～15時
- 場所：富津市役所／ZOOM
- 参加者：34人

民間企業等
- 商業施設
- 配食業者
- NPO法人
- 社会福祉法人

リハビリ機関
- PTOTST連絡協議会
- リハビリテーション広域支援センター
- 医療機関(PT)
- 老健(PT)

介護機関
- ケアマネジャー協議会
- 地域包括
- SC

行政等
- 市社協
- 健康づくり課
- 国民健康保険課
- 介護福祉課

田中室長補佐の講演
「介護予防・地域包括ケアの構築を目指して―奈良県生駒市の取り組み例を通してそれぞれができること―」を受けて意見交換を行いました。

富津市は行政も、包括も、地域の関係機関もバラバラに事業をやっている。方針を共有し、小さなことでも始めていかなければ。

富津市に置き換えて自分たちができることはなんだろう？

市と関係機関との協議の場がもっと欲しい。

富津市の施策が住民に知られていない。

総合事業は柔軟性がある。うまく予算を使って、社会資源を活用したり、地域の元気高齢者に活躍してもらう。

市・包括・関係機関

アドバイザーからの助言

行政と地域の各関係機関が対話をする時間を設けること

- 市に必要な施策は何かを意見交換をしてアイディアを得ること。行政でできることと地域にお願いすることをすり合わせる。

高齢者のニーズ（困りごと）を把握すること

- 介護予防把握事業については、生駒市では基本チェックリストを郵送して毎年実施。
- 基本チェックリストの項目以外に、独自項目として社会とのつながり等を入れている。八王子市では、服薬状況、水分量の摂取量、スマートフォンの使用有無等の設問を追加している。経年的に追っていき、データベースに載せられるとよいので、最初の段階でよく考えること。

市の施策の普及啓発について

- 市の施策を広報し、市民に富津市の現状を「我が事」と考えてもらう機会を設ける。
- 市の施策のフォーラムを開催することを検討するのもよい。
  （例）百歳体操に取り組む方を取り上げ、体操を継続することで生活が変化したことを発表してもらう。

助言を受けての取り組み

―介護予防把握事業の実施…高齢者のニーズ（困りごと）の把握―

１ 目的…閉じこもり等の何らかの支援が必要な方を早期に把握し、住民主体の介護予防活動等へつなげること。

２ 実施者…富津市介護福祉課（業務委託を予定）

３ 対象者…75 歳以上の高齢者のうち、要介護認定等を受けていない方約9,0 00 人

４ 送付するもの…元気度チェック回答用紙（仮称）… 基本チェックリストにいくつかの質問項目を加えたもの

５ 方法

①「元気度チェック回答用紙（仮称）」の回答者を次のように分類

- Ａリスト … 運動、生活機能全般、ほか5 項目のいずれかに低下項目のある方
- Ｂリスト … 運動、生活機能全般、栄養、口腔のいずれかに低下項目のある方
- Ｃリスト … Ａリスト及びＢリスト以外の方

②回答者へアドバイス票を作成、郵送

- Ａリストの方　地域の介護予防に係る資源を情報提供するほか、電話等によりアプローチ
- Ｂリストの方　地域の介護予防に係る資源を情報提供するほか、地域包括支援センターを紹介(書面のみ)
- Ｃリストの方　アドバイス票は送付しない

③未回答者の実態把握…下記対象者(例)を参考に、対象者を絞り、訪問等のアプローチを検討

- 高齢者世帯に属する方のうち未返送の方(80 歳未満の方は、夫婦どちらかが返送している場合を除く)
- 80 歳以上で単身世帯に属する方のうち未返送の方(民生委員等が把握している方を除く)

修正等のご意見があれば、是非お寄せください

元気度チェック回答用紙（素案）

- 宛名のご本人が回答してください（代筆可）。
- 太枠内（網掛け部分）にご記入ください。
- 「はい」か「いいえ」どちらかに○をつけてください。

氏名

	No	質問	回答	
生活機能全般	1	バスや電車で１人で外出していますか	はい	いいえ
	2	日用品の買物をしていますか	はい	いいえ
	3	預貯金の出し入れをしていますか	はい	いいえ
	4	友人の家を訪ねていますか	はい	いいえ
	5	家族や友人の相談にのっていますか	はい	いいえ
運動機能の状態	6	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	はい	いいえ
	7	椅子に座った状態からなにもつかまらずに立ち上がっていますか	はい	いいえ
	8	15 分位続けて歩いていますか	はい	いいえ
	9	この１年間に転んだことがありますか	はい	いいえ
	10	転倒に対する不安は大きいですか	はい	いいえ
低栄養	11	6 ヵ月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか	はい	いいえ
	12	身長と体重をご記入ください（おおまかで構いません） 身長 cm	体重 kg	
口腔の状態	13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい	いいえ
	14	お茶や汁物等でむせることがありますか	はい	いいえ
	15	口の渇きが気になりますか	はい	いいえ
外出	16	週に１回以上は外出していますか	はい	いいえ
	17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	はい	いいえ
もの忘れ	18	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	はい	いいえ
	19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	はい	いいえ
	20	今日が何月何日かわからない時がありますか	はい	いいえ
こころの状態	21	（ここ２週間）毎日の生活に充実感がない	はい	いいえ
	22	（ここ２週間）これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	はい	いいえ
	23	（ここ２週間）以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	はい	いいえ
	24	（ここ２週間）自分が役に立つ人間だと思えない	はい	いいえ
	25	（ここ２週間）わけもなく疲れたような感じがする	はい	いいえ

- 以下の設問にも回答してください。

No	質問	回答
26	家族構成を教えてください（○はひとつ）	1．ひとり暮らし　2．夫婦のみの世帯　3．親族（子や孫など）との同居世帯　4．その他（　）
27	健康状態はいかがですか（○はひとつ）	1．よい　2．まあよい　3．ふつう　4．あまりよくない　5．よくない
28	現在、医療機関にかかっていますか（○はひとつ）	はい　いいえ
29	医療機関にかかっている病気で、該当するものは何ですか。（○はいくつでも）	1．高血圧　2．脳卒中　3．心臓疾患　4．糖尿病　5．うつ　6．呼吸器疾患　7．認知症　8．その他（　）
30	あなたは現在、地域でどのような活動に参加していますか。（○はいくつでも）	1．ボランティアグループ　2．運動のグループ　3．趣味関係のグループ（サークル等）　4．地域活動（自治会、百歳体操、老人クラブ等）　5．その他（　）
31	あなたが地域住民のために「支援を行ってもよい」と思うものはありますか。（○はいくつでも）	1．話し相手　2．送迎　3．電球交換等　4．荷物の運搬　5．ゴミ出し　6．掃除　7．見守り　8．住民が集まる場づくり　9．その他（　）
32	あなたが日常的に会話をする方は誰ですか。（○はいくつでも）	1．同居の家族　2．別居の家族　3．友人・知人　4．近隣住民　5．民生委員　6．その他（　）　7．話し相手がいない
記入日	年　月　日	電話（または FAX）　－　－

※提供いただいた情報は、富津市や富津市内の地域包括支援センターからの介護予防に関する情報の提供、富津市の介護予防事業の効率を検証する目的以外には利用しません。

★もう一度、記入漏れがないかご確認ください。
元気度チェック（基本チェックリスト）にご回答いただき、ありがとうございました。
この用紙を、同封しております封筒に入れて、ポストへ投函してください。

32

助言を受けての取り組み

―市の施策の普及啓発―

フレイルサポーター養成講座

・R3年12月にキックオフセミナーをした。

・フレイルサポーターとは、フレイル予防をするため、フレイルチェック測定会をはじめとした健康長寿のまちづくり活動を行う、市民ボランティア。

・フレイルについて知ってもらうこと、フレイルの方がいたら富津市の事業を紹介してもらったり、包括につないでもらったりする役割。

・ケアマネジャー協議会等の場で養成講座を周知。

⇒「市民（地域）に事業をもっと知ってもらう場をもつこと」というアドバイスを受けて、意識して取り組んでいる。

今後取り組みたいこと

分野横断的に考える場づくり

- 各関係機関との対話の場で行政の方針を伝える。
- 行政と各関係機関とが協働して介護予防の施策を展開する。

介護予防把握事業により、高齢者のニーズを把握

行政情報や地域住民等の取り組みの発信

- 現状の取り組みを発表・啓発する場(フォーラム)を企画する

短期集中型サービス

- 介護予防把握事業のデータや各関係機関との協議から、必要なサービスを検討する。

３　富津市における在宅医療・介護連携推進事業の実際

富津市の在宅医療・介護連携推進会議における目指すべき姿

住み慣れた地域で安心して人生の最期まで暮らせるまち

地域包括ケアシステムの実現に向けた在宅医療・介護連携推進事業の在り方

住み慣れた地域で安心して人生の最期まで暮らせるまち

Act 改善

Plan 計画

現状分析・課題抽出・施策立案

- 地域の医療機関、介護事業所の機能等や、在宅医療・介護サービスの利用者の情報把握
- 将来の人口動態、地域特性に応じたニーズの推計
- 情報を整理しリストやマップ等で情報共有

医療関係者

介護関係者

市役所

Check 評価

Do 実行

対応策の実施

①在宅医療・介護連携に関する相談支援

②地域住民への普及啓発

地域の実情を踏まえた柔軟な実施が可能

③医療・介護関係者の情報共有の支援

④医療・介護関係者の研修

＜富津市における庁内連携＞総合事業など他の地域支援事業との連携や、災害・救急時対応の検討

厚生労働省「在宅医療・介護連携推進会議の手引きver.3」6頁を参考に作成

対応策①
在宅医療・介護連携に関する相談支援

「医療介護連携地域相談サポート医設置事業」

- 事業内容

…本人の受診拒否など医療に関する対応が困難なケースについて、市から委託を受けた地域包括支援センターの「在宅医療・介護連携支援相談窓口」を通じて、地域相談サポート医に相談ができる仕組み

- 地域相談サポート医

…木更津市、君津市、袖ケ浦市、富津市が相談業務を委託している、君津木更津医師会から選出された医師

相談先…各地区地域包括支援センター

対応策②
地域住民への普及啓発

- 「在宅医療・介護関係者資源リスト」の配布
- 「富津市マイライフノート」の配布
- 市民講演会等は未実施

対応策③
医療・介護関係者の情報共有の支援

バイタルリンクの運用

- Ｓ管理者（医師会）※有料

…管理者を増やすことができる。その他の機能は管理者と同じ

- 管理者（行政、包括等）※有料。誰でも管理者となれる

…患者の部屋を作成できる。そこに関係する医療・介護事業所を招待する

…バイタルリンクへ事業所の登録ができる

・利用者（医療・介護事業所）

…招待された患者の部屋にて、連絡帳によりメッセージや画像のやり取りができる

…全体掲示板等で、情報共有ができる

※令和4年3月末までトライアル期間

対応策④
医療・介護関係者の研修

- 富津市主催では未実施
- 下記のとおり、各職能団体により、研修等を実施いただいている

□認知症疾患医療センターによる「多職種症例勉強会」

□歯科医師会による「口腔ケアスキルアップ研修会」

□薬剤師会による「地域包括支援センターと連携した在宅患者の薬剤管理支援事業」

□訪問看護事業所による「君津地域訪問看護つなぐ会」

□君津地域PT・OT・ST連絡協議会等による「君津圏域公開フォーラム」

□富津市ケアマネジャー協議会による研修

入退院時の医療・介護連携に関する報酬

出典：厚生労働省「在宅医療・介護連携推進会議の手引きver.3」33頁

議題第２号　各ワーキンググループにおける令和３年度の取組について（報告）

（１）在宅医療・介護連携部門ワーキンググループの取組について

ワーキンググループとしての活動実績はなかったが、それ以外の活動は下記のとおり。

時期	活動内容	詳細
令和3年5月20日	バイタルリンク勉強会 主催：君津木更津医師会 【内容】 多職種連携のためのツール 「バイタルリンク」の運用方法について 学び、参加者で意見交換をした	参加者は下記のとおり □　帝人ファーマ(株) …バイタルリンクを運営 □　地域相談サポート医 □　君津木更津医師会 □　君津木更津薬剤師会薬業会 □　君津四市地域包括支援センター □　君津四市行政
令和3年6月	①「富津市マイライフノート」配布 ②「在宅医療・介護関係者資源リスト」の配布 【内容】 行政から配布、配架を依頼	配布先は下記のとおり □　イオンモール富津 □　セレモニーホールむらいし □　各地区地域包括支援センター □　富津市社会福祉協議会 □　富津公民館 □　中央公民館 □　市民会館 □　峰上出張所 □　富津市介護福祉課

時期	活動内容	詳細
令和3年9月30日	第６回君津木更津地区四市ケアマネジャー連絡協議会 第５回君津地域包括支援センター連絡協議会　合同大会 主催：君津木更津医師会 【内容】 「ＩＣＴの活用・問題点」をテーマに、下記の方が発表 ● 君津木更津医師会：嶋田医師 ● 居宅介護支援センター波岡の家 ：斎藤様 ● 富津市天羽地区地域包括線センター ：藤野様 ● 君津木更津医師会：大日方医師	参加者は下記のとおり □ 帝人ファーマ(株) …バイタルリンクを運営 □ 地域相談サポート医 □ 君津木更津医師会 □ 君津木更津薬剤師会薬業会 □ 君津四市ケアマネジャー協議会 □ 君津四市地域包括支援センター □ 君津圏域 PTOTST 連絡協議会 □ 君津四市行政
令和4年1月20日	ＩＣＴ(バイタルリンク)の使用方法についての研修会 主催：君津木更津医師会 【内容】 バイタルリンクの管理者についての操作方法の説明会を実施。また、バイタルリンクへの登録を促した	参加者は下記のとおり □ 帝人ファーマ(株) …バイタルリンクを運営 □ 君津木更津医師会 □ 君津木更津薬剤師会薬業会 □ 君津四市ケアマネジャー協議会 □ 富津市内介護事業所 □ 君津四市地域包括支援センター □ 君津四市行政

（２）認知症施策部門ワーキンググループの取組について

第１回認知症施策部門ワーキンググループ

ア　講演会について

千葉県認知症地域医療支援事業（普及啓発事業）を活用し、認知症カフェでの講演や相談を令和４年１月１９日にオレンジカフェ・門カフェで認知症家族交流会と合同開催する予定だった。しかしその後、事務局と主催であるミッドナイトミッションのぞみ会にて協議した結果、コロナウイルス感染拡大に伴い、中止となった。

イ　認知症メモリーウオークについて

当初令和２年度に開催を予定していたが中止。今年度についても、令和３年９月２３日の開催に向け、４月・６月に実行委員会議を実施するも緊急事態宣言が発令されたため、中止となる。

実行委員は施設長の方々が中心となり進めていたが、一度実行委員は解散し、新たにメンバーは有志の希望者があり実行委員会の立ち上げに向け話を進める。

ウ　認知症サポーター養成講座及び認知症サポーター証の周知について

富津市では認知症サポーター養成講座を実施し、令和３年１２月末現在３，２７９名が養成講座を受講。また、令和３年４月からオレンジリングに変わり認知症サポーター証を配布することに全国的に変更があった。

富津市の対応としては、認知症サポーター養成講座の受講者に対し、認知症サポーター証を無料で配付。オレンジリングが欲しい団体に対しては、市等が窓口となり、当該団体に購入していただく。

市の窓口にも変更になる前より周知しており、広報ふっつ３月号（今月号）に掲載した。

※なお、オレンジリングについては、県でまとめて購入すると単価が安くなると情報提供をいただいており、対応について今後検討したい。

グループワークの手順

- 目的は、現場で対応されている皆さまからのご意見を伺い、今後の施策の参考とさせていただくことです。
- 全体の時間は20分とします。

① 必要に応じて自己紹介。司会進行と書記を決めてください。

- 例)司会進行…本日、いちばん早く起きた方にお願いします
- 例)書記…本日、いちばん遅く起きた方にお願いします

グループワークの手順

②「日常の療養支援」「入退院支援」「急変時の対応」「看取り」という
いずれかの場面において、実際に対応されていて
「良かった事例」または「困った事例」等について
お一人ずつ発表をお願いします。

③ ひと通り発表が終わりましたら、自由に意見交換をお願いします。

- 例）別の場面での事例の有無
- 例）困った事例の改善のための施策など

④ 司会進行役等に、発表をお願いします（3分程度）。
※こんな意見が出たということを教えていただくだけで構いません。

グループワークテーマ：①～④の場面において、皆さまが実際に対応されていて良かったこと・困ったこと

令和4年3月11日　令和3年度第1回富津市在宅医療・介護連携推進会議

グループ名		

		①日常の療養支援	②入退院支援	③急変時の対応	④看取り
1	**めざすべき姿（例）**	医療・介護関係者の多職種協働によって、患者・利用者・家族の療養生活を支援することで、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が住み慣れた場所で生活ができるようにする	入退院の際に、医療機関、介護事業所等が協働・情報共有を行うことで、一体的でスムーズな医療・介護サービスが提供され、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、希望する場所で望む日常生活が過ごせるようにする	医療・介護・消防(救急)が円滑に連携することにより、在宅で療養生活を送る医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者の急変時にも、本人の意思も尊重された対応を踏まえた適切な対応が行われるようにする	地域住民が、在宅での看取り等について十分に理解したうえで、医療と介護の両方を必要とする高齢者が、人生の最終段階における望む場所での看取りを行えるように、医療・介護関係者が対象者本人と人生の最終段階における意思を共有し、それを実現できるように支援する
2	**対応していて良かったこと**	例)デイサービス職員が、本人の義歯が合っていないことを確認。家族の協力で歯科医への受診につなげた	例)退院前に、ZOOMで会議を実施。服薬、訪問看護、訪問リハ、訪問介護の事業所が本人の情報共有を行った	例)「要援護者見守りキット」が冷蔵庫に保管されているため、急変時に救急隊にその情報を把握することができた	例)本人が「富津市マイライフノート」を記入し、それを参考に往診する医師、訪問看護師、ヘルパーらが情報共有し、対応している
3	**対応していて困ったこと**	例)往診、訪問リハ、訪問看護、ヘルパーが訪問していたが、職員が新型コロナの濃厚接触者となり、代替職員の手配ができなかった期間があった	例)在宅介護サービス等が整わないまま退院し、ケアマネがサービス調整に追われた	例)かかりつけ医がなく、コロナで救急搬送先が見つかるまで3時間かかった。また、親族がいないためケアマネが救急車に同伴しなければならなかった	例)本人が看取りを希望しているか否か分からず、認知症で意思確認が困難。身寄りもないため、看取り、死後の対応をどうしたらよいか分からない
4	**施策の実施**	・認知症ケアパスの印刷、配布【令和3年度実施】 ・在宅医療・介護関係者資源リストの配布【令和3年度実施】 ・バイタルリンクの周知【随時実施】	・医療、介護事業所を対象に、入退院カンファレンスを行っている医療機関等から講演【未実施】 ・入退院カンファレンス等が難しい理由を医療機関等から聴取【未実施】 ・「千葉県地域生活連携シート」を活用している医療機関等から意見を聴取【未実施】	・在宅療養者の急変時の対応ルールの作成、患者本人の意向の共有【未実施】 ・消防(救急)も交えた意見交換会の開催【未実施】	・在宅療養と在宅看取りのガイドブックの作成【平成30年度実施】 ・在宅医療と地域の支えあいのための講演会の開催【令和元年度実施】 ・マイライフノートの配布【令和3年度実施】
5	**評価**	・在宅医療を提供する医療・介護の事業所数の変化	・入退院支援を行う医療機関数の増加	・急変時の対応ルールが実際の場面で遵守されたか、事業所や家族にヒアリング	・本人の意思を踏まえた看取り対応ができたか、医療・介護関係者や家族にヒアリング
		・在宅医療を希望する(36.6%)及び受けている(6.0%)住民がいる。希望等する方で在宅医療の不備な点は、緊急時の受け入れ先がない(26.8%)、手続きがよくわからない(25.0%)など● ・希望したいが現実には難しい(23.5%)希望しない(14.9%)方の理由は、家族に負担をかけたくない(28.4%)、緊急時にどうしたらよいかわからない(19.8%)など● ・「現在の健康状態はいかがですか」という問いに対し「あまりよくない」「よくない」との回答者…男性20.7%。女性18.2%■ ・3年後(2016年3月と2019年3月)に要介護3以上に重度化する割合…要支援1は18.0%。要支援2は16.3%。要介護1は35.6%■ ・人生の最期を自宅で過ごしたいと考えている人の割合…男性74.8%。女性63.2%■			
6	**改善**				

記号の出所
●第8期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画策定基礎調査結果報告書
■第8期富津市介護保険事業計画、富津市高齢者福祉計画38頁